



会員の皆さまお変わりありませんでしょうか。

2022年、今年の干支は『寅』ですね。

『寅』の漢字は現代では専ら十二支や名前で使用されるようで、こちらの『虎』を用いることが多いでしょうか。

『虎は千里を行って千里を帰る』

虎は一日に千里の距離を走り、巣穴にいる自分の子どもを思い、また千里を走って帰ってくる。親が子を思う気持ちの強さをたとえたことばだそうです。

お父さんやお母さんが一分一秒でも早くお仕事から戻るまで。隙間の時間をファミサポがお手伝いできるよう今年も頑張って参りたいと思います。  
どうぞよろしくお願いいたします。



## センターメールアドレス変更について

現在のアドレスは令和4年3月31日をもち終了となります。

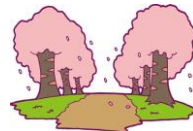


新しいアドレスのご登録をお願いいたします。

[family-support@npo-tanpopo.or.jp](mailto:family-support@npo-tanpopo.or.jp)

### 退会届のご提出について

✿ 小学校をご卒業されるお子さま  
(該当会員には別途郵送いたします)



✿ 市外へ転出される方

(飯能市在勤の方で登録継続される方は提出不要です)

✿ 退会を希望される方

※転出、退会希望の方は、【飯能市ファミリー・サポート・センター TEL: 971-1163】までご連絡をお願いいたします。

是非、提供会員に!!

子どもが卒業して時間に余裕ができたわ!!

特別な資格は必要?

必要ありません。子育ての経験を活かしてください!!

### 依頼会員→提供・両方会員になりませんか?

提供会員になるためには?



24時間の講習と救急救命講習が必要です。ママ友との参加も大歓迎です!!

提供会員の活動は?

活動費が支払われる有償ボランティアです



大歓迎です

子どもが大好き♡

活動内容は?

ご自宅近くの保育園、児童クラブ等に送迎やお預かりです



# 今年の活動を振り返って...

コロナウイルス感染症の影響で、自由が制限される生活が今もなお続いています。影響は全国のセンターに及び、令和2年度の依頼会員登録及び活動の減少に生じたようです。

飯能市ファミリー・サポート・センターもコロナ禍以前と比較すると、登録、活動件数など減少しました。

また、時節柄、在宅勤務時の預かりなど、これまでの活動にはない傾向が見られました。

…嬉しかったこともありました。

提供会員Hさん。以前から興味があったボランティアに参加したいと思っていたそうです。在宅勤務が続くなか、時間的にも体力的にも余裕ができた中で、ファミリー・サポート・センターの提供会員として活動したいと登録に来てくださいました。

誰もが大変なときにお手伝いをしたいというお気持ちと、ファミサポに目を向けてくださったことがなにより嬉しかったです。ありがとうございます。

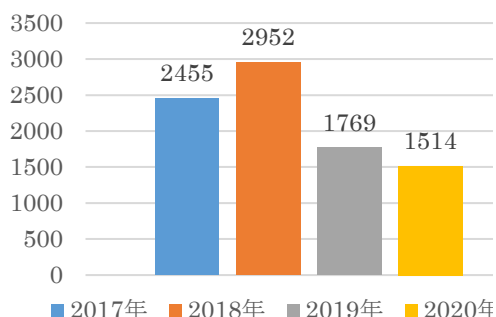
飯能市ファミリー・サポート・センターも数字的な変化はありましたが、提供会員さんが依頼会員さんを支えたい気持ちは変わることなく在り続けています。

お仕事を頑張る、子育てを頑張るお父さん、お母さん。

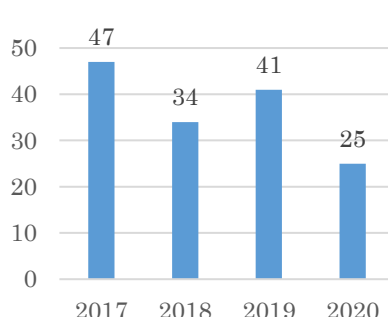
これからもそんなお父さん、お母さんの味方でありたいと思います。

## 飯能市ファミリー・サポート・センター活動状況

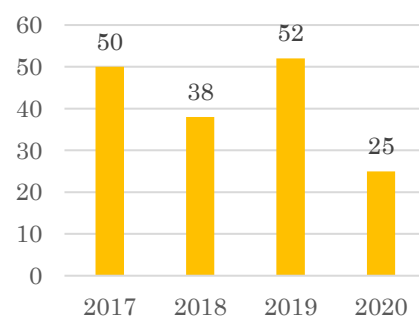
〈活動件数〉



〈事前打合せ件数〉



〈依頼会員登録数〉



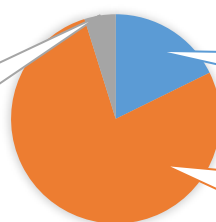
ファミリー・サポート・センター事業の始まりは平成6年…。

4か所（日立市、貝塚市、山口市、福岡市）からスタートしました。令和2年度には956か所のセンターで事業が行われています。

## 〈令和2年度全国の会員数〉

797,280名

両方会員  
38,496名



提供会員  
141,332名

依頼会員  
617,452名



飯能市ファミリー・サポート・センター  
〒357-0025 飯能市栄町 18-16 飯栄ビル 203  
TEL: 971-1163 / Fax: 971-3253



ファミサポを利用して2年目になります。

学童はすでにいっぱい、幼稚園の学童へ連れて行っていただく為に登録をしました。昨年から車送迎廃止とのことで、家で一人留守番をさせるか仕事を辞めるしかないと悩んでいた時、提供会員さんから徒歩で送迎をやってみましょうと言っただき今に至ります。近くに頼れる親族がない私にとって、母の様に頼れる方に出会えてこんなにありがたい事はありません。

娘も提供会員さんが大好きで、週に一度お話ししながら歩く道のりをとても楽しみにしています。きっと私のように悩んでいる子育て中の方は少なくないはず。ファミサポの活動を一人でも多くの人に知って貰い、助け合える環境が増えると嬉しいなと思います。

提供会員Sさんより



徒歩でのサポートが決まったとき、Sちゃんも私も体力的に続けられるか…とりあえず始めてみて様子を見ようと考えていました。しかし、早いもので一年が経とうとしています。

20分の道のりは、その日の学校での出来事や、お出かけしたときのことなど話しながらとても楽しい時間です。

コロナ禍のなかスタートしたサポート。こもりがちな生活が続くなか気分転換も兼ね、また、サポートも頑張れるよう体力をつけるために近くの山を登りはじめました。今では日課となり仕事の前や、サポートのある日も登っています。

子どもが大好きで提供会員になり5年になりました。お子さんからパワーをもらいながら楽しく活動させていただいています。これからも仕事に子育てに頑張るお母さんの助けになればと思います。

会員の皆さまにお願いです

新型コロナウイルス感染症が疑われ検査を受けるまたは受けた方、受検が分かった段階でセンターにご連絡をお願いいたします。特に活動中の方はご協力をお願い申し上げます。

【飯能市ファミリー・サポート・センター TEL:971-1163】

飛沫予防対策

- 大人はユニバーサルマスク（症状がなくてもマスクを着用）の徹底
- 子どものマスクは無理強いせず可能な範囲で着用を推進、推奨し、2歳未満には推奨しないとされています（R4.2月現在）

感染予防のために

（参考）

保育現場のための  
新型コロナウイルス  
感染症対応ガイドブック

接触予防策

- 石鹸は固形より液体を推奨。液体せっけんのつぎ足しは容器や石鹸の細菌繁殖リスクを高めるため、空になった容器を清潔に乾燥させてから補充を行う

定期的な換気

- 会員宅での預かりでは、子どもの安全を最優先し窓やドアを開放してください。換気扇、扇風機、サーキュレーターなども使用しながら、空気感染対策もお願いいたします

人と人の距離を取る

- 食事介助を行う際にはできるだけ間隔をあげ、正面からでなく横から行う

体調不良がある場合

- 活動を控えることが重要です


# ある日のサポートの様子



R3.4月

提供会員SさんとSちゃんの徒歩でのサポートが始まりました。学校にお迎えに行き幼稚園の学童まで、週に1回20分の道のりを歩いています。初回サポートの日。2人で大丈夫かな…危険な道はないかな…と心配になり、センター職員も一緒に歩いたのを思い出します。



道中では会話に花が咲きます。 


「Sさん好きな野菜なに？」

「レタス!! …Sちゃんは？」



「ピーマン!!」

しりとりや九九の段を唱えながら歩いた日もありました。

ただ送るだけでない、何気ない会話をしながらの時間。ファミサポの活動がお子さんの心に残る時間になればいいなと思います。 



1×1=...



手をつないで歩こうね!!



サポート開始からもうすぐ1年が経過しますが、雨の日も、風の冷たい日も、音をあげることなくサポートを続けてくださいました。センターからもSさんとSちゃんに「ありがとう♡」を伝えたいです。

撮影のためサポートに同行したこの日、Sちゃんが「Sさんと離れたくないな…」と一言。心からの言葉を耳にした気がします。友だちのような、母と子のような…ファミサポならではの…の信頼関係があります。

